

女性が語る 道づくり地域づくりフォーラム

—— フォローアップ会合 ——

「全国みちづくり女性ネット」の誕生

平成16年1月

はじめに

私たちが毎日いろいろな形で利用している様々な《道》は、戦後より産業基盤を優先した観点から行政主導のもと、量的な充足を図ることを主たる目的としてつくられてきました。その結果、私たちの暮らしが豊かになった一方で、交通量の増加に伴う交通渋滞や道で遊ぶこともできないなどの生活道路の安全性の低下など、《道》はたくさんの問題を抱えるものとなっています。

このような中、私たちは日々の暮らしや子育て、高齢者のお世話などから、女性だから〔判ること〕、〔感じること〕、〔願うこと〕を仲間とともに語り、考え、地域に伝え、明日の子供達のために、各女性団体がそれぞれの思い（さざなみ）を抱き、全国各地で様々な活動を行なってきました。そして、活動を続けていくにつれ、それぞれの《道》や《地域》への熱い思いを全国に発信し、共有したいと思い始めました。

そこで、私たちは全国各地でみちづくりや地域づくりについて活動を行っている女性団体と声を掛け合い、全国と交流を図るべく、新たなパワー（うねり）の創造に期待し、平成15年11月29日に東京国際フォーラムにおいて『女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム ～全国みちづくり女性団体交流会議～』を開催しました。各団体の活動目的や活動内容についての報告に併せ、《道》や《地域》づくりに対する女性としての、女性ならではの熱い思いを涙と笑いを交え、活発な意見交換が行なわれました。また、会議では、「私たち参加団体は、誕生したばかりの団体が多く、まだまだ学ぶことが多いことから、お互いに情報交換し、励ましあい、楽しみあいながら、道とのおつきあいを深めていきたい」、「この度の道への熱い思いを忘れずに、この輪をもっと広げ、力を合わせて地域を元気にしていきたい」など、今後の活動における団体との交流や連携の必要性が挙げられました。

こうした背景のもと、本フォローアップ会合は『女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム ～全国みちづくり女性団体交流会議～』に参加した団体を中心とする全国の11の女性団体により、フォーラムでのみんなの熱い思い（うねり）を絶やさぬよう、しっかりとした“なみ”へと育むために開催しました。

※1 『女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム～全国みちづくり女性団体交流会議～』

フォーラムの概要

全国のみちづくり、地域づくりに関わる 21 の女性団体(270 名)が東京国際フォーラムへ一同に集結し、小雨が降る中、女性のパワーがみなぎる熱いフォーラムが行なわれました。

パネルディスカッションでは、座長(日本海-太平洋女性みちの会 森美佐枝)やパネラー(常磐道を応援する女性の会 西本由美子、NPO 女性みちみらい上越 北島朝子、佐久女性みちの会 中村美登里、するが女性みちの会 櫻井旬子、みえのみち・女性会議 浜中佳芳子、蒲江町道づくりを考える女性の会 富高かをる)だけでなく、会場の参加者も一緒に、〈救う道〉〈学び道〉〈食の道〉〈守る道〉〈命の道〉〈拓く道〉をキーワードに、暮らしに根付いた女性ならではの視点から《道づくり・地域づくり》について熱い討論が繰り広げられました。



フォーラムには、石川嘉延 静岡県知事(全国高速道路推進協議会会長)のご出席をいただき、また、高橋はるみ 北海道知事、太田房江 大阪府知事、国土交通省 大石久和 技監にはビデオなどにより応援メッセージをいただきました。



また、基調講話の講師として秋岡栄子さん(写真:左)「テーマ:外から見た日本の道」と菅原由美子さん(写真:右)「テーマ:地域振興と道づくり」をお招きし、お話をいただきました。



●フォーラムの詳細内容については…

全国みちづくり女性ネットのホームページ

http://www3.tokai.or.jp/josei_michi/

に掲載しています!!

1. フォローアップ会合開催の目的

女性として、暮らしの安全安心を願う生活者としての立場からの《道》への熱い思い“さざなみ”は、昨年開催された『女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム ～全国みちづくり女性団体交流会議～』によって熱く大きな“うねり”と変わりました。この“うねり”を絶やさぬよう、自ら《道》づくりに参画し、同時に責任を分かち合うことができるしっかりとした“なみ”へと育むためには、それぞれの情報を交換し、全国で各々が展開している活動を励ましあい、支えあい、楽しみながら、お互いを結びつける“ネットワーク化”が必要となります。

各地域では地域ごと様々違った実状があることから、《道づくり》《地域づくり》に対する思いも千差万別です。しかし、女性の視点や女性の立場から見える・感じる・思うことには共通性があり、“ネットワーク化”によってそれぞれの思いや考え方を共有し、協力していくことにより、私たちの活動は大きく躍進していくことと考えられます。

今回のフォローアップ会合では、この“ネットワーク化”を実現し、今後の活動における交流・連携を強化するための方策について議論し、今後の活動の方向性を明らかにすることを目的として開催しました。

2. 会合の概要

◆開催日：平成16年1月9日（金）～平成16年1月10日（土）

◆開催場所：全トヨタ労連研修センター つどいの丘
〔愛知県西加茂郡藤岡町大字西中山字清水口133番地〕

◆活動行程

1日目（平成16年1月9日）

①今後の活動に関わる討議／14：30～17：30

テーマ「今後の活動内容及び道路づくりについて」

②交流会／18：30～20：30

・講演「最新の高速道路事情について」

国土交通省道路局高速国道課 横田課長

・自己紹介

2日目（平成16年1月10日）

①現場見学／9：00～12：00

一般国道475号 東海環状自動車道（瀬戸工区）

3. 会合参加への呼びかけ

今回のフォローアップ会合には、昨年開催された『女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム ～全国みちづくり女性団体交流会議～』に出席して下さった、全国 21 の道づくりに関わる女性団体をはじめ、新たに連絡を取り合うことのできた数団体に対し会合への参加を呼びかけました。また、残念ながら出席できなかった団体には、会合の主旨となる議題についての意見を聴取するために事前アンケートを行いました。

4. 参加者

新年早々の忙しい時期でありましたが、以下のような全国の道づくりに関わる 11 の女性団体、計 14 名が参加しました。また、^{※2}オブザーバーとして、各女性団体が日頃活動している地元地域の行政関係者が参加しました。

県名	会 の 名 称	氏 名
福島	常磐道を応援する女性の会	西本 由美子
		中島 みどり
新潟	NPO 女性みちみらい上越	歌川 泉
長野	佐久女性みちの会	大草 晴美
		中村 美登里
静岡	するが女性みちの会	石川 美枝子
		櫻井 旬子
	みんなの道	河村 節子
		森 美佐枝
福井	小浜女性ネットワーク	稲葉 理英子
兵庫	まちづくり安・安	平内 節子
岡山	安心・安全・快適な道を考える女性の会	徳田 恭子
徳島	夢ロード女性フォーラム	新居 洋子
大分	「中九州横断道路」早期完成を願う女性の会	堀 幸子

(敬称略)

※2 オブザーバーとして、福島県庁、新潟県庁、佐久市役所、静岡県庁、静岡市役所、三重県庁、福井県庁、小浜市役所、姫路市役所、徳島県庁、国土交通省中部地方整備局、愛知国道事務所が参加しました。

5.フォローアップ会合報告

今会合の進行役には、昨年行なわれた『女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム ～全国みちづくり女性団体交流会議～』において座長を務めた「みんなの道（静岡県）森美佐枝」が選出され、以下、会合議事の進行を務めました。



森 美佐枝
〔みんなの道〕

5-1.各団体の紹介と現在の活動状況

各女性団体を代表して今会合に出席した参加者が、自己紹介と各団体が地域で日頃行なっている諸活動について説明しました。これまでの活動の経緯をはじめ、女性団体としての《道》や《地域》づくりに対する熱い思いが語られました。そして、この会合の主旨である各女性団体間のネットワーク化に向けての希望と期待に、参加者全員の胸が大きく膨らみました。



会場の様子



歌川 泉
〔NPO
女性みちみらい上越〕



中村 美登里
〔佐久女性みちの会〕



大草 晴美
〔佐久女性みちの会〕



櫻井 旬子
〔するが女性みちの会〕



石川 美枝子
〔するが女性みちの会〕



中島 みどり
〔常磐道を応援する
女性の会〕



西本 由美子
〔常磐道を応援する
女性の会〕



河村 節子
〔みんなの道〕



稲葉 理英子
〔小浜女性ネットワーク〕



平内 節子
〔まちづくり安・安〕



徳田 恭子
〔安心・安全・快適な道
を考える女性の会〕



新居 洋子
〔夢ロード
女性フォーラム〕



堀 幸子
〔「中九州横断道路」
早期完成を願う
女性の会〕



会場の様子

5-2. 「女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム」について

具体的な話し合いを行なう前に、みんなで昨年行なわれた『女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム ～全国みちづくり女性団体交流会議～』について振り返りました。

スクリーンを通して、あの時あの会場で、熱く熱く高まった私たちの思いが甦りました。

残念ながら、当日、フォーラムに出席できなかった今会合参加者にも、会場の熱気が伝わったことでしょう。

フォーラムでのみなさんの熱い思い“うねり”を“なみ”へと育むための“ネットワーク化”の必要性についてひとりひとりが改めて感じました。



5-3.今後の取り組みについて

組織の名称及び今後の具体的な活動方法についてみんなで話し合いました。より活発で連携のとれた団体活動を行なう為の方策や体制について、多くの知恵を出し合い、みんなで今後の展開についてイメージしました。また、当日残念ながら出席できない団体を対象に事前に行なったアンケート調査の結果も踏まえ、話し合いが行なわれました。

1) 組織の名称

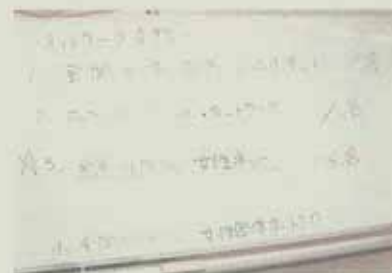
『全国みちづくり女性ネット』に決まりました。

代表的な意見

- ・女性をイメージする女性という単語は入れたい
- ・道だけではなく、まちづくりも行なっていることも忘れないでほしい
- ・地域づくりは他に団体があり、道と女性のネットワークはここが最初だと思うので地域づくりよりも道を強調したい
- ・道づくりが地域づくりやまちづくり、人づくりに広がる為、そのスタートとなる道づくりが入った方がよい
- ・道づくりという言葉にこだわりたい

名称候補

- ・『全国女性みちづくりネット』
- ・『みちづくり女性・ネットワーク』
- ・『全国みちづくり女性ネット』
- ・『全国みちづくり女性団体ネットワーク』



組織の名称

2) 組織の取りまとめ

「グループみんなの道」の森美佐枝さんが汗かき世話人（雑用係）となり、静岡県が支援することに決まりました。

代表的な意見

- ・『全国みちづくり女性ネット』は新たな組織として誕生した為、この会合で新たに雑用（連絡窓口など）を行なう組織の代表的な役（世話人）を選出したい
- ・去年のフォーラムについても静岡県が中心となりサポートしてくれたので、この組織についてもサポートしてもらえれば自然な流れだと思う
- ・女性団体の方から何らかの代表的な存在の方が存在すれば、静岡県庁として組織をサポートしていくことが可能である
- ・静岡県庁がサポートしてくれるのならば、近くで活動をしている方がよいのではないだろうか

3) 今後の活動

①情報の共有化

各女性団体の活動情報を共有化し、団体間の連携を誘起するため、メーリングリストを作成することに決まりました。

代表的な意見

- ・ 毎回会合を開いていたら不経済なため、気軽に情報交換を行なえるメーリングリストを作成したい

②活動の相互協力

各地域において、各女性団体が単独あるいは複数の団体でイベント等の活動を実施する場合は、当該団体が事務局となり、その他の団体は活動を支援することに決まりました。（『全国みちづくり女性ネット』は実行委員会をもたない、ネットワーク上の組織とします）

代表的な意見

- ・ 活動には情報交換に参加することと行事に参加することの二通りがあり、前者のネットワーク参加については比較的気軽にできるものと思われるが、後者については負担が大きくなる為、行事毎に参加を募り、実行委員会をつくる形をとり、「全国みちづくり女性ネット」は実行委員会をもたない、ネットワーク上の組織としたい

③書籍の出版

静岡県土木部道路企画室 石野功技監から、各女性団体の活動内容や提案を取りまとめた書籍の出版計画があることが説明され、この方向性が決まった段階での『全国みちづくり女性ネット』メンバーの協力を呼びかけました。

- ・ これまでの道づくりに足りなかったものや女性から見た道づくりの問題点の整理、各団体の活動状況やフォーラムの実績などを掲載したい
- ・ 行政側で資金を出すのは不可能である為、引出しの奥に眠っている不要なテレホンカード（未使用なものはおよそ300円程度に換金が可能）を収集する等の工夫を行い、『全国みちづくり女性ネット』において出版費用をつくる必要がある

※3 ある特定の宛先に電子メールを送ると、その同じ内容の電子メールがあらかじめ登録されている人全員（複数）に配送される仕組み。送られてきた電子メールに返信した場合は、その返信メールも登録されている全員に送られる。

5-4.欠席団体のアンケート調査結果概要

今回のフォローアップ会合の話し合いには、当日残念ながら出席できない方の意見も参考にしたいと考え、出席できない団体には事前にアンケート調査を行ないました。

以下の女性団体より回答を頂きました。

県名	団体名
福島	常磐自動車道建設促進とサービスエリア実現を支援する女性の会
新潟	NPO 法人 越のみちネットワーク女性会議
山梨	増穂町商工会
	南アルプス市商工会女性部
	身延町商工会女性部
佐賀	道を研究する会 ロードネット佐賀
大分	宇佐国見高規格道路整備促進女性の会
	蒲江町道づくりを考える女性の会
	日田市郡の明日を想う会
宮崎	北浦町の道づくりを考える女性の会
	北川町の道づくりを考える女性の会

以下がアンケートの意見を取りまとめたものです。

質問 1.現在の団体の活動状況と今後の活動をどのように展開して行くのか

代表的な意見

- ・現場見学会及び勉強会・道路整備の懇話会・県内外の団体とのミニ座談会の開催
- ・みちのコミュニケーション機能を活かす提案活動・ワークショップ等の実施
- ・道路の多目的活用を考える社会実験への提案、研修会
- ・(道の利活用に関する)現場インタビュー調査・シンポジウムの開催
- ・道路清掃・広報誌企画・ティッシュ等の配布・沿道の緑化(水道の設置)

質問 2.全国的な団体の連携方策についてはどのように展開したいと考えていますか

代表的な意見

- ・県内の団体と連携方法を話し合い、代表者を全国に送り出す方法も考えたい
- ・実現に向けての色々な活動から生まれる情報交換や連帯感が人を育て、暮らしと地域を守る自信につながるような活動を展開したい
- ・多くのネットワーク団体と①提言や提案 ②研修 ③社会実験研究等を進めたい
- ・人的動員については、財源等の問題があるためホームページの開設やメールマガジンの発行等を行い、各種情報交換を行なう
- ・地元県単位でフォーラムを開催する
- ・全国のみならず機会あるごとに勉強する
- ・統一した展開は無理だと思ふため、地域的にそれぞれあった活動をすべき
- ・年1回位は地方の声を大きくするために、全国的なフォーラムをする

5-5. 議事要旨

団体名は以下のように略させていただきます。また、敬称についても略させていただきます。
 ①常磐道応援…常磐道を応援する女性の会 ②みちみらい…NPO女性みちみらい上越
 ③佐久女性…佐久女性みちの会 ④するが女性…するが女性みちの会 ⑤小浜女性…小浜女性ネットワーク
 ⑥まち安・安…まちづくり安・安 ⑦安心・安全…安心・安全快適な道を考える女性の会
 ⑧夢ロード…夢ロード女性フォーラム ⑨中九州横断…「中九州横断道路」早期完成を願う女性の会

発言者	発言要旨	1/3
静岡県・石野	昨年のフォーラムの結果が12月25日の採択につながったと、地域で皆さんに喜ばれた。地域の方に理解していただいただけでも、開催した価値があった。	
みんなの道・森	今回作ろうとしている女性団体のネットワークは、新たに発足させようとするものである為、事務局については昨年11月29日のフォーラムを開催した実行委員会ではなく、新たに決めたい。	
常磐道応援・西本	これから私たちがもし一年に一回みんなとこのように話し合いたいとなったら、無理のない形で実行委員会があった方がいい。このような会や企画は決して私たち女性だけでできるわけではなく、黒子となる行政や頼りになる男性も必要である。私たち女性だけではなく県や市の意見も入れて、みんなで意見を言い合いたい。	
みんなの道・森	今回欠席の方に事前にアンケートを取ったところ、メーリングリストを作ったかどうか、毎回会っていたらお金もたまらないし体もきついので、いろいろ情報交換をするためのものが必要ではないかという意見があった。	
常磐道応援・西本 みちみらい・歌川	ホームページを事務局においてみんなで話し合えば、お金をかけずにできる。各団体のホームページができたなら、それを日本海太平洋女性みちの会で使っているjosei.orgというサーバーに載せれば、全国の女性団体にリンクできる。お金はかからないので、情報だけもらえれば私の方でやる。ただ、見ない人が多いので、ホームページは広く情報発信する程度に考えて、実質活動はそれに頼らず、他に展開した方がよい。データベースを各団体に出してもらい、アップすれば、各団体の情報を簡単に知ることや何かあった時には連携しやすいのではないかな。	
常磐道応援・西本	ホームページのある団体に関しては了解を頂き、自由に開けるようにして、ホームページのない団体は各々作って頂いて、みんなでリンクし合えば一つになるのではないかな。そうすれば事務局がなくてもお金をかけずに自分たちの力でできる。	
常磐道応援・中島	今日配られた名簿にとりあえず代表の連絡先や皆さんの携帯番号、またはアドレスを追加して、今日明日中に一枚の紙にしていいただければ、横のつながりができる。	
みんなの道・森	今日参加されなかった方に関しても連絡をとり、メーリングリストに参加したいということであれば追加していきます。	
静岡県・櫻井	ネットワークがある以上、どこかが事務局になって連絡の中心になってデータを管理する必要が出てくる。まず全体で一つのホームページを作り、活動内容や意見の書き込みや議論ができるようにして、そこから各団体にリンクさせればよい。多少の費用負担があったら、みなさんが少しずつお金を出すようにしたらどうか。団体の参加にはネットワークとして参加するというレベルと、行事に参加するというレベルと二段階あると思うので、公共にあるネットワークとイベントなどを企画する実行委員会とに分けたらどうか。ネットワークは比較的気楽に参加できるが、イベントは負担が大きくなるので、その都度、参加する団体の中から実行委員会を作ればよい。	
みんなの道・森	ネットワークを作るということで、名前を決めます。「女性」は入れましょう。道ばかりではなく、まちづくりもふまえない。	
安全・安心・徳田	「地域づくり」は現在既に団体があるが、道と女性がネットワークするのはここが初めてだと思う。「道」の方が「地域づくり」よりもわかりやすくよい。	
中九州横断道・堀	やはり道づくりをスタートに、地域づくり、街づくり、人づくりに広がっていくので、もとになる「道づくり」が入ったほうが良い。	
みんなの道・森	みなさんの意見より、この4つの中で多数決で決めます。 「全国女性みちづくりネット」・「みちづくり女性・ネットワーク」 「全国みちづくり女性ネット」・「全国みちづくり女性団体ネットワーク」 「全国みちづくり女性ネット」に決まりました。今後新聞や記者会見やテレビラジオ等、すべてこの名前で統一して出します。	

発言者	発言要旨	2/3
みんなの道・森 静岡県・石野	このネットワークで何をするのか決めたい。まず、交流、情報交換について。 この女性団体のネットワークの活動を一冊の書籍にまとめたいと考えている。その資金集めとして、机の奥に眠っているような不要なテレホンカードを集めはじめた。ある程度目処がいたら皆さんにもご協力をお願いしたい。	
夢ロード・新居	世論として、田舎に高速道路は不必要という方がたくさんいるが、田舎にも必要だという話に持っていけるような活動を続けたい。去年に引き続いて今年もフォーラムを開催し、全国からお越しいただき、私たちには気づかなかった話や地域毎のギャップを知っていただきたい。地域の現状や観光名所を見学して交流を深めたい。	
みんなの道・森	我々の声を知っていただく相手は国であり、当然全国のいろいろな方々にも知っていただきたい。その方法としてネットワークやメーリングリストやフォーラムなどがある。フォーラムに関しては主催地にみんなで応援に行く形にすればよい。	
夢ロード・新居 三重県・河村	東京の出来事は全国紙に取り上げられやすいが、田舎の活動も取り上げたい。昨年11月29日のフォーラムの様子を新聞の全国紙に載せたらどうかと新聞社と話をしている。資金的な問題もあるが、皆さんの同意が得られるようであれば、実行委員会の名前で口座を作って資金を集めたい。地域版だと財政的に予算はそんなに掛からないが、全国紙だと非常に掛かる。	
夢ロード・新居	私たちの活動を全国版に載せ、世論が動いていってほしい。東京での陳情の際に、タクシーの運転手に田舎には高速道路は要らないと言われ、こういうひとりひとりの気持ちから変えなければならぬと思った。やはり都会の人にアピールしないとイケない。だから全国紙はすごくいいと思う。	
みんなの道・森	我々はこのこに集まりお互いの良さがわかったが、それを世間にも理解してほしい。同じような状況の所の人たちが、仲間に入ってがんばろうとなるように、まずは情報を発信する必要がある。発信元が一つの大きな固まりならば扱ってもらえる。	
安全・安心・徳田	高速道路は建設後にそれを利用して地元がどう発展していくか、そのためにどう活動していくかが重要である。車が通らない高速道路はやはり無駄です。他に代替となる道路がなく救急車が渋滞の道しか通れないなど、緊急時に必要となる道路は作るべき。私たちの団体は、市街地における一般道の歩道の整備など、歩く人に道を返してよという運動を展開していきたい。それぞれの地域で、見解や思い、提言の仕方は違う。もしこのネットワークが高速道路建設の色が濃いのであれば、高速道路建設を必要としない団体は多分このネットワークに参加しない。だから、常に高速道路が絶対ほしいという会にしないで、生活者の視点を踏まえた、よりよい道路づくりのための女性のネットワークであることを前面に出していった方がよい。	
みんなの道・森	このネットワークは道づくりのネットワークであり、高速道路建設には限定していない。例えば、私たちの団体は沿道にイスを設置する活動をしているが、高速道路ではできない。でも私たちが作っているイスは全国に置いてもらいたい。だから、このネットワークが発信する内容は道路がほしいというのものもあるし、イスを置きたいというのものもあるし、花を植えたいというのものもある。それぞれがやっている活動を全国の方に知っていただき、共通するもの、共感するもの同士が連携していけばよい。ピックアップしながら、それぞれがそれぞれのネットワークをまた作っていけばよい。このネットワークはその大元になる団体としましょう。	
静岡県・石野	例えば、先ほどの書籍発刊についてだが、ネットワークの利用がある程度目処がいたら、仮称をつけて、～実行委員会という形で皆さんに呼びかける。そして、皆さんの中で賛同したいという人たちに協力していただくという形態をとる。また、高速道路のフォーラムであれば、また賛同を募り、やりたいという団体が中心となって実行委員会を作ればよい。それには行政も入るだろう。やりたいことをネットワークを活用し賛同を募り、独自で実行委員会を組織するというのも選択肢の一つである。高速道路、地域、花、横断歩道とそれぞれ思いは違うが、全国規模にする集まってくるだろう。全体の実行委員会をつくるより、アクションを起こすときにそれぞれが自ら先頭に立って、毎々につくるやり方がいいのではないかと。	
国交省・池田	情報の管理についてはメーリングリストで十分であるだろう。本を作るとか、イベントをやるといいう時にやりたい人たちが実行委員をやればよいのではないのか。いくらかのメーリングリストの管理はあるかもしれないが基本的に一斉メールシステムなので、さほど管理などはいらないのではないかと。	

発言者	発言要旨	3/3
みちみらい・歌川	メーリングリストをするにはちょっとした管理者が必要となる。ネットワークは軽い情報発信の機能として管理者を働き、本を作る時やフォーラムをやる時はその都度実行委員会をつくれればよい。	
みんなの道・森 静岡県・櫻井	例えばマスコミ等が問い合わせできる事務局や代表者を決めなくてはいけない。全体の事務局長は誰かしっかりとした女性団体の方にやっていただければ、後のいろいろなサポートは行政側で対応できる。	
常磐道応援・西本	昨年の女性フォーラムは実行委員会を静岡県がやったので、その流れで今後も静岡が代表をやればよいのではないかと。	
みんなの道・森	代表者については静岡の女性団体のメンバーで話し合い、皆さんに報告します。	
みんなの道・森 事務局	データベースがあれば、全国にどのような団体があるかわかり便利だと思う。各団体でデータをまとめてもらえば対応します。	
みんなの道・森 常磐道応援・西本	昨年のフォーラムの報告書が大好評で、もっとほしいと言う声があがっている。活動するのに報告書を使いたかったのだが、部数が足りなかった。	
静岡県・石野	各県には一部、国土交通省にも複数、参加した32団体には送ってある。	
夢ロード・新居	参加していない女性団体にも渡し、今後は一緒にやりましょうと声をかけたい。	
静岡県・石野	全国フォーラムは毎年やるとなるとかなりの量だと思う。地域限定の形でやり、そこに全国の人たちが集まるという形がよい。行政もある程度前面に立っていかないと、いきなり全国規模になるのは難しい。まず地域から盛り上がり、全国でやろうと行政を突いて、乗ってくれればよい。	
夢ロード・新居	行政が乗ってこなくてもフォーラムをやるといふ勢いはあるが、実際には、人もお金も集めるのは大変である。全国規模なら、なおさら。でも、全国規模で必ずやりたい。	
みんなの道・森	今日のように集まって会合もしたい。アンケートの中には、別に会わなくてもという意見があったが、会って話をしなければわからないことはたくさんあるし、女性の場合、会って話すのが活力になったりするので、なんとか努力して会をやりたい。	
静岡県・石野	あまりきっちり形を決めなくて、何かの際に臨場してこの会を開き、参加できる人たちだけが集まるような流動的なものにすればよい。	
静岡県・石野	例えば、これから小浜女性ネットワークを立ち上げる記念の会に女性みんなが集まったりすればいいのではないかと。毎年大きなものを狙わなくても、地域版というレベルでやっていると長続きする。背伸びしないやり方でもいいのではないかと。	
小浜女性・稲葉	現在組織はまだ存在していないが、設立の際には皆さんに来てほしい。今後行政や公団との連携をとりながら、若狭・舞鶴自動車道が一日でも早く北陸自動車道と繋がられ、日本の道として役目が果たせるように私たちの団体も努力と計画をしたい。会の名前も親しみやすいものを考えたい。	
三重県・河村	これから行政と地域の皆さんの新しい関わりが大事である。地域の皆さんが本当に一生懸命になってやっているという土壌ができてきたのは、これからの行政と地域の皆さんの新たなコラボレーションの形である。国であれ県であれ市町村であれ、皆さんのきちっとした形がこれからの地域を作っていく。その基本的なところを押えれば、道に対するいろいろな活動が出てきて、成果もきちっと出てくるだろう。	
国交省・池田	私もそのために、オフィシャルマネージャーでも黒子でも何でもやります。	
国交省・池田	今後行政がどのように住民と連携、支援していくかという問題だが、今は手探りの状態であり、一つ一つが実験であり実行だと思う。だから今日のような成果をまとめて、それを行政の財産にし、さらに他の行政や自分のところに広げる。住民の活動を応援していると費用を出していいか行政は悩むが、行政の財産にするのだと視点を変えて考えれば、行政としても費用負担しやすいだろう。行政の財産にするのであればレポートを作って読んでもらおうという発想になる。視点を変えることで、単に応援しているということではなく、自分達のバックには納税者がいるということを考えてもらえば、また新しいことが出てくるのではないかと。	
静岡県・櫻井	行政側のこういう形に関するスタンスというのは前例がないだけに悩ましい。我々は、雰囲気づくりはするが、行政が自分達の財産にしすぎて行政っぽく動かないようにしたい。やはり女性の皆さんが動くんだということをしっかりふまえて、行政が出すぎることをないように自戒しながらこのような会に望んでいる。	

6.交流会

6-1.講演（国土交通省道路局 高速国道課長 横田耕治）

道づくりの知識を肥やし、これからの団体活動に活かす為、横田課長に高速道路関連の最近の話題について、わかりやすく講演を行なっていただきました。

道づくりに関する女性団体のネットワークが、今日できたことをうれしく思っている。政府与党協議会の場で全国 70 箇所の高速道路の建設についての診断結果が出てから、皆様方女性団体や知事からたくさんのご意見をいただいた。これを踏まえ、道路関連四公団の民営化に向けて枠組みを決めたことや、新直轄方式により高速道路 27 区間を 2 兆 4 千億円で建設することを決めたことの二つを話したい。

1.道路関係四公団民営化の基本的枠組みについて

- ◆民営化の目的
- ◆新たな組織とその役割
- ◆建設・管理・料金徴収
- ◆支援措置
- ◆有料道路の対象事業等の見直し
- ◆料金の性格とその水準
- ◆継承する資産・債務の内容
- ◆今後のスケジュール

2.第 1 回国土開発幹線自動車道建設会議について

- ◆今後の整備手法（高速自動車国道の整備の流れ）
- ◆新直轄方式に切り替わる区間の選定の考え方

高速道路建設については批判等が多く寄せられているが、インフラは生活のベーシックである。生活の中での必要性を考え、できるだけ負担が少なく、後世により良いものを残すという観点で考えた場合、今回の整備手法等は妥当であると考えられる。

新会社は国民の共有財産をつくり、管理していく会社となるので、皆さまには厳しく監視してもらい、私たちのためになる会社となるよう、引き続き支援していただきたい。

新直轄方式のものと新会社で行なうものが決められ、具体的に考え、決めることがいろいろと残っているので、各地域において引き続き支援していただきたい。皆さまが開催する会合やシンポジウム等には今後も参加させていただきたい。



6-2.自己紹介

個々が所属する団体の紹介だけでなく、個人の紹介や会合で言いそびれてしまったこと、道づくりへの熱い思いを楽しく語り合いました。



各地の地場産品を食べながらの交流会の様子



「全国みちづくり女性ネット」への期待に胸を膨らませ記念撮影

7.現場見学

国土交通省 中部地方整備局 愛知国道事務所様のご協力により一般国道475号東海環状自動車道の瀬戸工区の工事現場を見学しました。

見学を通じて道路事業についての新たな知識を肥やすとともに、今後の活動への意識が高まりました。建設には多くの費用が必要になりますが、道路がネットワーク化されることから地域間の交流が活発となり、地域や経済の活性化が期待でき、私たちはより豊かで楽しく暮らせることでしょう。

私たち「全国みちづくり女性ネット」も同様にネットワーク化により全国の団体と連携をはかり、“道づくりから地域を、日本を元気にしていきたい”とみんなが感じました。



現場説明の様子(瀬戸東IC)



施工中道路(橋梁部)見学の様子



施工中道路(土工部)見学の様子



参加者全員で記念撮影(瀬戸東IC)

おわりに

今回のフォローアップ会合により、全国各地で「道づくり」や「地域づくり」について、女性として、暮らしの安全安心を願う生活者として個々に活動していた団体がネットワーク化し、連携することで一つとなり、“さざなみ”は確実に“なみ”へと姿を変えることができました。

今後は、この“なみ”がさらに大きくなるように、ネットワークを通じて、私たちの活動をより元気に、活発にしていきたいと思えます。

当面の活動内容は、①会員の活動についての情報交換や共有、②会員相互の交流や連携、③サポーターとの協働、④道づくりに対する提言や意見の発表、ということで大きな枠組みは決まりました。しかし、データベースの作成や活動資金等の細かな部分については保留しているため、今後調整を諮っていきます。(ホームページについては現在作成済み。なお、情報管理等の雑用は“世話人”として、今後2年間は「みんなの道・森美佐枝」が担当することとなりました。)

「全国みちづくり女性ネット」としてスタートした私たちネットワークは、“楽しく活動する”ことがモットーです。全国のみなさんと力を合わせ、地域間交流を楽しみながら、道づくりを楽しみながら道とおつきあいしていこうと思っています。

そして、女性ならではの視点から、女性という立場から道づくりを考え、豊かで元気な地域づくり、温もりのある魅力的な地域づくりをしていきたいと思っています。

最後に、このフォローアップ会合に対して多大なるご支援を頂いた国土交通省 中部地方整備局並びに静岡国道事務所、愛知国道事務所、ならびに会合に参加いただいた福島県庁、新潟県庁、佐久市、静岡県庁、静岡市、三重県庁、福井県庁、小浜市、姫路市、徳島県庁の皆様がこの場を借りて御礼申し上げます。

●『全国みちづくり女性ネット』のホームページが開設されました！

URL : http://www3.tokai.or.jp/josei_michi/

全国の女性団体の皆さま、行政関係の方々 ぜひ一度アクセスしてみてください。私たちのネットワークに参加したい方はホームページに詳細が載っています。

私たちが活動が
新聞に掲載されました！

《静岡新聞掲載：
平成16年1月11日(日)》

「一月半の間にワークショップは、各地で実施された。その結果、各地の女性たちが、これまでに、道のネットワークを構築し、活動の場を共有し、情報交換や共有、サポーターとの協働、道づくりに対する提言や意見の発表、ということで大きな枠組みは決まりました。しかし、データベースの作成や活動資金等の細かな部分については保留しているため、今後調整を諮っていきます。(ホームページについては現在作成済み。なお、情報管理等の雑用は“世話人”として、今後2年間は「みんなの道・森美佐枝」が担当することとなりました。)



全国みちづくり女性ネットの発足について
話し合う代表者一室が静岡新聞



お問い合わせは…

「全国みちづくり女性ネット」

〒424-0808 静岡県静岡市清水大手1-2-11

(有)ハウジング森 内

TEL : 0543-65-1384 FAX : 0543-65-4941

世話人 森 美佐枝